

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	V	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	1133	駐車場事業費	会計	07	駐車場事業特別会計	
基本施策	66	文化・スポーツ施設などの公共施設を利用しやすくする	款	01	駐車場事業費	
施策	1	公共施設の利便性向上	項	01	駐車場事業費	
			目	01	駐車場事業費	
			細目	101	駐車場事業費	
			細々目	01	駐車場事業費	
基本計画該当頁	209	担当部課	コード	600100	評価者	大谷泰紀
行革大綱の重点事項番号		名称			氏名	連絡先
						59 - 2053 (内線) 11

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	鳥ヶ原駅利用者及び市民 (※対象件数)	JR通勤者や通学者の駐車する場を提供することにより、利便性と関西線の利用促進ができる。
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
		伊賀市庁舎管理規則
事業内容	駐車場の管理運営 駐車使用料の徴収事務	状況変化等 昨年度、月極使用料の改正を行い、施設の効率的な運営と適正な維持管理に努めている。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
月極駐車利用台数(年間)	台	目標	828	目標	862
		実績	850	実績	798
一日駐車利用台数(年間)	台	目標	1768	目標	1903
		実績	1853	実績	1897
		目標		目標	
		実績		実績	
		目標		目標	
		実績		実績	
		目標		目標	
		実績		実績	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	(鳥ヶ原勤労者協議会)
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	2,044 千円
4 市内の類似施設	市営駐車場

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
使用料収入	利用促進	円	目標	2500000	2500000	2500000
			実績	2128900		
			目標			
			実績			

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	JR関西本線の利用促進にも必要な施設であり、通勤者等の利便性を高める。
有効性	3	利用者はほぼ横ばいであり、自家用車による通勤者が多い。加茂以西の関西本線電化で時間短縮が実現すれば、大阪への通勤圏にもなり、利用者の増加が見込まれる。
達成度	3	ほぼ目標を達成している。
効率性	4	使用料収入の範囲で指定管理を委託している。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	19年度において料金改定を行い、収入確保に努めた。

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)
委託	⇔	指定管理料			1,892	指定管理料			2,041	指定管理料			2,306	指定管理料			2,444
工事	⇔	修繕料				修繕料			3	修繕料			100	修繕料			100
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ	1,892	事業費計(A)	Σ	2,044	事業費計(A)	Σ	2,406	事業費計(A)	Σ	2,544				
事業投入人員		人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720	人件費(B)	0.1	人	720
フルコスト (A)+(B)				2,612			2,764		3,126			3,264					

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	金額	(B) 人件費	金額	(A)+(B) 総額	金額
国庫支出金					
Aの財源内訳					
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他					
一般財源	1,892		720	2,612	2,044
計	1,892		720	2,612	2,406
特定財源の名称・補助基本額・率					
地方債の区分と充当率等					